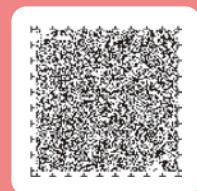


令和6年度

三重の

サステナブル
経営アワード

表彰企業紹介



三重のサステナブル経営アワードへの期待

本県の中小企業・小規模企業は、県内の企業数の99.8%、雇用の88.3%を占め、地域の雇用や経済、社会を支える重要な存在です。「三重のサステナブル経営アワード」は、そのような中小企業・小規模企業の中で、持続可能性の高い経営に取り組む企業の魅力を情報発信するとともに、そのような取組を行う企業の裾野を拡大することを目的としています。

今回ご紹介する令和6年度表彰企業は、「環境への配慮・脱炭素」、「次世代育成の推進」、「地域社会への貢献」、「従業員満足度の向上」に取り組む、持続可能性の高い経営を行うことで、社会の変化にも対応して発展を続けています。エネルギー価格や物価高によるコスト上昇や価格転嫁の遅れ、また、企業の労働力不足等の課題が顕在化しており、中小企業・小規模企業を中心に先行きが懸念される状況が続く中、成長を続け、地域をけん引する企業の存在が重要です。

表彰企業の取組が周知されることを通じて、県内中小企業・小規模企業の皆様が「サステナブル経営」への理解を深め、自らも持続可能性に目を向けた経営改革に取り組んでいただくことで、競争力や事業継続力の強化、新たな雇用の創出につなげ、地域経済活性化の原動力となっただけを期待しています。

令和7年3月
三重県知事 一見 勝之



「三重のサステナブル経営アワード」とは

4つの取組を実践することで、自社の付加価値の向上と経営基盤の改善を推進し、他の県内企業のモデルとなる「持続可能性の高い」企業を表彰します。

環境への配慮・脱炭素

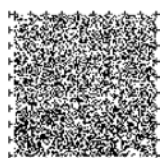
次世代育成の推進

地域社会への貢献

従業員満足度の向上

三重のサステナブル経営

環境や社会の持続可能性に配慮しながら、
長期的に良好な経済活動を行う経営のこと。





令和6年度表彰企業



- 尾鷲物産株式会社
- 下津醤油株式会社
- 株式会社ナベル
- 株式会社光機械製作所
- 株式会社マツザキ
- 株式会社四日市事務機センター

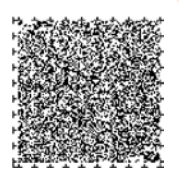
令和6年度は33者の応募があり、外部の専門家により構成された審査委員会の審査を経て、6者が表彰となりました。表彰企業には、三重県知事より表彰状と記念品の木製楯が贈呈されました。

審査の流れ



表彰の目的

持続可能性の高い経営に
取り組む企業の裾野拡大



お わ せ ぶ っ さ ん

尾鷲物産株式会社

- 所在地：〒519-3612 尾鷲市林町 1-33
- TEL：0597-22-2323
- HP：https://www.owasebussan.net/



- 業 種：水産業
- 従業員数：249 人
- 創 業：1972 年
- 資 本 金：6,500 万円



お の ひろゆき
代表取締役社長 **小野 博行**

海の環境を考慮した漁業を通じ、
水産業の課題解決と地域社会への貢献を目指す。

水産業の活性化を通じた地域貢献

漁業部門、水産加工業部門、小売業部門の3部門にわたる水産の総合商社として垂直統合型の6次産業化を展開。

CSV（利益の獲得と社会的課題の解決の両立を軸とした経営）の企業理念のもと、県南部の主要産業である漁業の活性化と地域貢献に取り組む。



本社工場社屋



養殖場

持続可能な漁業の実現に向けて

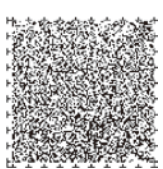
養殖時の給餌には、海水汚染の影響がほとんどないとされる固形飼料を採用している。持続可能な漁業であることを認証する「MSC認証」を近海まぐろ延縄漁業で日本で初めて取得。

製品の品質だけでなく、海域の品質も担保していく事で、持続可能な漁業の実現に取り組む。

世界のオワセを目指して

首都圏・中京圏・関西圏に近いという立地条件を持ち、大手回転ずしチェーンとの取引をはじめとして、尾鷲市から全国に新鮮な魚を届けている。

アジア地域や欧米諸国など海外市場の販路開拓にも取り組み、さらなる発展を目指す。



漁船「良米丸」

下津醤油株式会社

- 所在地：〒514-0114 津市一身田町 362
- TEL：059-232-2121
- HP：https://www.kyu-boshi.com/



代表取締役 しも づ ひろつぐ 下津 浩嗣

- 業 種：食品製造業
- 従業員数：22 人
- 創 業：1856 年
- 資 本 金：1,000 万円

地域になくなくてはならない企業となるための 商品開発・地域活動を通じたサステナブルな取組



直売所とスタッフ

地域を愛し、地域に愛され 160 余年

企業規模のみを追わない経営理念のもと、地域に密着した経営を行う。

家庭用醤油の製造や、年 2 回の工場感謝祭の開催など、地元の人に手が届く商品の開発・販売に力を入れており、地域になくなくてはならない会社を目指している。

「もったいない」から始まった新商品

廃棄物となっていた伊勢芋の皮を農家から買い取って、かりんとう・どら焼き・コロッケといった新商品を開発。自社を支える商品の一つとなっている。

農林水産省・環境省・消費者庁主催の「サステナアワード 2023」では、優秀賞を受賞した。



伊勢芋かりんとう



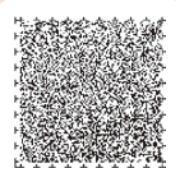
一身田レトロ館と高田本山

一身田地域の活性化をけん引

商工会の中心メンバーとして、地域を盛り上げるために新イベントを多数企画。

商工会の有志で出資した「あかり屋」の社長として、温泉宿「高田会館」の運営受託や惣菜レストラン「ぼんぼり」を開業。

昨年には「一身田レトロ館」をオープンするなど、自社のみならず、津市一身田地域の活性化に取り組む。



株式会社ナベル

- 所在地：〒518-0131 伊賀市ゆめが丘7丁目2-3
- TEL：0595-21-5060
- HP：<https://www.bellows.co.jp/>



ながい のりお
代表取締役社長 **永井 規夫**

- 業種：その他製造業
- 従業員数：212人
- 創業：1972年
- 資本金：5,000万円

顧客の創造を継続する会社活動の中で、
サステナブルという観点を加えた製品開発を推進

ジャバラの製造技術と共に挑戦を続ける

カメラ用のジャバラから医療機械や工作機械用のジャバラ、ロボットカバーやソーラーパネルへと、ジャバラの製造技術を中心に同心円上に製品を開発・発展させてきた。

ジャバラを機能的なカバーと考えることで、既成概念に捉われることのない製品開発を実現している。



折り畳み式ソーラーパネル

環境に配慮した製品を開発



放電加工機用のフィルター

新たに開発した放電加工機用のフィルターは、従来廃棄していた枠部分を再利用化できるように改良され、フィルター自体も10倍長持ちするものへと進化。

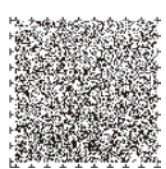
ジャバラ技術が使われた折り畳み式ソーラーパネルは、三重県内自治体に防災用物資として寄付も行き、地域の防災活動の推進に寄与している。

グローバルに事業を展開

ユニークな発想から生み出される確かな製品力・技術力を持って、アメリカ、中国、台湾、韓国へと事業をグローバルに展開。日本トップレベルのジャバラメーカーとして、メイドインジャパンの復活を進めていく。



海外工場の社員



ひかり き かい せい さく じょ
株式会社光機械製作所

- 所在地：〒514-0112 津市一身田中野 8-1
- TEL：059-227-5511
- HP：https://www.hikarikikai.co.jp/



にしおか けい こ
代表取締役社長 **西岡 慶子**

- 業 種：生産用機械器具製造業
- 従業員数：100 人
- 創 業：1946 年
- 資 本 金：4,000 万円

従業員のウェルビーイングと多様な人材による
イノベーションを通じて持続可能な発展を目指す



本社管理棟

三重から世界へ

企業理念「Be professional!」と人材方針「3Gs: Gender-free, Generation-free, and Global」のもと、アイデアと技術と感性を磨き、それぞれがプロフェッショナルとして最高の仕事をする事で、従業員の幸福とお客様、地域、日本、世界の発展を目指している。

多様な人材が活躍する職場

部長の平均年齢は 42 歳。設計・開発部門の 30% が女性、製造部門で最も大きいグループの長を女性が務めている。外国籍の従業員の宗教観を尊重し、社内に礼拝スペースを設けている。

性別や国籍・年齢等に関わらず、個人の能力と人間力を高め、多様な人材が活躍する企業文化を醸成してきた。



社員の様子



高い技術力から生まれる製品

世界初、業界初の製品を創り出す力

ハード&ソフトの開発設計力と匠の技で、業界初の特異な工作機械を生み出し、世界の工場で活躍している。

超短パルスレーザー事業は、経済産業省の Go-Tech 事業（国プロ）に採択され、次世代の技術開発に挑戦している。

切削工具の総合加工メーカーでもある。



株式会社マツザキ

- 所在地：〒518-1416 伊賀市下阿波 2697 番地の1
- TEL：0595-48-0221
- HP：<https://matsuzaki.info/>



代表取締役 まつざき まさし
松崎 将司

- 業種：建設業
- 従業員数：10人
- 創業：1952年
- 資本金：2,000万円

持続的発展を目指す地域建設会社の サステナブルな取組と未来へのビジョン

時代に先駆けたチャレンジを行う

県内建設企業初の中小企業版 SBT 認証を取得し、建設業ではまだまだ導入が少なかった時代に完全週休2日制を開始するなど、業界や時代に先駆けた取組を多数行う。

業務効率化や働きやすい職場環境を創出し、地域の中核を担う建設企業を目指している。



社員の集合写真



小水力発電

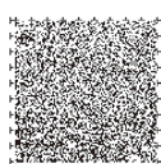
画期的な事業を展開

馬野川小水力発電所の建設や太陽光発電所を建設し、年間で一般家庭約380世帯に相当する電力を創出。地域内外に再生可能エネルギーを供給している。

小水力発電所は、メディアにも取り上げられるなど、画期的な取組として注目を浴び、地域での認知度・信頼向上につながっている。

地域に信頼される企業へ

測量用ドローンの導入や、クラウドの導入による社外でのPC利用などに取り組み、総務だけでなく現場の業務効率化を実現。業務効率化によって、収益が向上しただけでなく、地元の小さな依頼にも対応できるようになり、地域との信頼関係を一層深めている。



ドローン操縦の様子

よっ か いち じ む き
株式会社四日市事務機センター

- 所在地：〒 510-0891 四日市市日永西 2-18-7
- TEL：059-346-5411
- HP：https://www.yj-c.co.jp/



代表取締役 さの ともなり 佐野 智成

- 業 種：小売業
- 従業員数：39 人 (グループ 60 人)
- 創 業：1974 年
- 資 本 金：1,000 万円

ICT/IoT の力で「三重県の人口を増やす」



働きやすいオフィス環境

関わる全ての人の未来を笑顔に

中小企業のオフィス改善・セキュリティ強化など、快適で働きやすい職場を IT の力で増やすことで、求人倍率・離職率の改善を実現し、三重県の人口を増やすことを目指す。

地域で NO.1 の企業を目指して、従業員・家族・顧客・地域など、関わる全ての人の「未来を笑顔に」することを経営理念とする。

従業員・家族の未来を笑顔に

TFS(Team, Family, Satisfaction) 推進宣言を実施し、独自の福利厚生制度を「チームワーク」「家族」「健康」に分類して 126 制度導入。

オフィス内に、カフェスペースやアニメキャラクターをモチーフとした会議室を設置するなど、働きやすく楽しい職場づくりを行っている。



伊賀の忍者屋敷オフィス

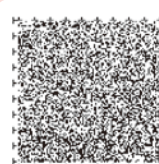


ペーパーレス化された会議

顧客・地域の未来を笑顔に

オフィスのクラウド化率を 90% 以上に高め、ペーパーレス化を実現するなど、社内の DX を推進。

そのノウハウを地域の中小企業へ伝授することで、地域全体の DX 化に取り組む。多角的なアプローチで地域経済の活性化と企業の成長を支援している。



これまでの表彰企業



令和4年度表彰企業



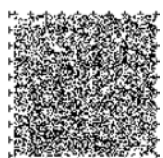
- ◆ エイベックス株式会社（桑名市）
- ◆ 株式会社オオコーチ（松阪市）
- ◆ 河村産業株式会社（四日市市）
- ◆ 株式会社北村組（松阪市）
- ◆ 株式会社フジ技研（いなべ市）
- ◆ 株式会社宝輪（鈴鹿市）
- ◆ 特定非営利活動法人三重県生涯スポーツ協会（津市）
- ◆ 三重執鬼株式会社（鈴鹿市）



令和5年度表彰企業



- ◆ 伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社（志摩市）
- ◆ 株式会社久志本組（四日市市）
- ◆ 光精工株式会社（桑名市）
- ◆ 株式会社山下組（志摩市）
- ◆ 和光紙器株式会社（鈴鹿市）



「三重のサステナブル経営アワード」 シンボルマークについて

第1回「三重のサステナブル経営アワード」を開催した令和4年度に、三重県立飯野高等学校応用デザイン科、三重県立松阪工業高等学校繊維デザイン科の皆様にご協力いただき、アワードのシンボルマークを作成しました。

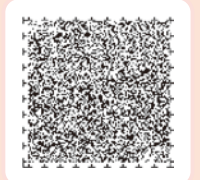
応募のあった49作品の中から、下記のデザインをシンボルマークに採用することといたしました。表彰企業は名刺や自社パンフレット、ホームページ等でお使いいただくことができます。



三重のサステナブル 経営アワード

◆ シンボルマークのコンセプト

アワードの4つの取組（環境への配慮・脱炭素、次世代育成の推進、地域社会への貢献、従業員満足度の向上）をイメージした4つの山が、組み合わせられてひとつになる過程をサステナブルの頭文字である「S」の形で表現しています。



「三重のサステナブル経営アワード」に 応募してみませんか？

主な応募要件

- ▶ 県内に主たる事業所がある中小企業・小規模企業（NPO、各種団体等を含む。）
- ▶ 従業員を雇用していない場合は対象外です。
- ▶ 業種は問いません。
- ▶ 3決算期以上事業が継続している必要があります。

審査・表彰企業決定までの流れ

◆ 1次審査 (書面審査)

ご提出いただいた書類をもとに審査します。

◆ 2次審査 (経営者プレゼンテーション)

取組や今後の見通しなどについて、経営者の方へヒアリングを行います。

◆ 3次審査 (現地訪問)

現地訪問を行い、取組や現場の様子などを拝見します。

◆ 表彰企業決定

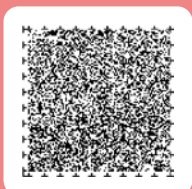
5社程度を表彰します。ホームページ等で発表し、表彰式を行います。



令和7年度の募集は、令和7年5月頃開始の予定!!

詳しくは、 **で検索!**

<https://www.pref.mie.lg.jp/SHINSAN/HP/m0143000272.htm>



お問合せ先

三重県雇用経済部中小企業・サービス産業振興課
〒514-8570 三重県津市広明町13

TEL 059-224-2534

E-mail chusho@pref.mie.lg.jp

発行：三重県